

令和8年度

熊本県立大学 環境共生学部

環境共生学科 居住環境学専攻

特別選抜 学校推薦型選抜

小論文

問題用紙

【注意事項】

- (1) 試験開始の合図があるまで、問題用紙を開いて中を見てはいけません。
- (2) 問題用紙は、この表紙を含めて5ページあります。
- (3) 全ての解答用紙の指定の欄に、受験番号、氏名を記入しなさい。
- (4) 問題は、全部で2問（問題Ⅰ，問題Ⅱ）あります。2問ともに答えなさい。
- (5) 解答は、必ず解答用紙に記入しなさい。
- (6) 問題用紙の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
- (7) 試験終了後、問題用紙及び下書き用紙は、持ち帰ってください。

(試験問題は、4 ページからです。)

(試験問題は、4 ページからです。)

次の**問題Ⅰ**および**問題Ⅱ**について答えなさい。

問題Ⅰ

我が国では高齢化が急速に進行し、介護を必要とする高齢者の数が増加しています。政府は「地域包括ケアシステム」や「介護保険制度」の充実を図っている一方で、介護人材の不足、施設の偏在、家族介護者の負担など、様々な課題が残されています。近年では、介護ロボットや見守りセンサーなどの ICT 技術を活用した新たな介護のあり方も模索されています。

あなたは、これからの日本社会において、どのような介護環境が理想的だと考えますか。制度・施設・人材・地域社会・テクノロジーなどの観点から、あなたの考えを 500 字程度で述べなさい。

〈用語解説〉

地域包括ケアシステム：高齢者が住み慣れた地域で、医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に受けられる体制であり、厚生労働省が推進している。

※厚生労働省：「地域包括ケアシステムの実現へ向けて」より作成。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/chiiki-houkatsu/index.html

介護保険制度：2000 年に導入された公的保険制度。要介護認定を受けた高齢者が、訪問介護や施設サービスなどを利用できる。財源は税金と保険料である。

介護人材不足：介護職員の数が需要に対して足りていない状況。低賃金・重労働・離職率の高さが課題となっており、外国人材の受け入れも進められている。

ICT 技術（介護分野）：情報通信技術を活用した介護支援。例：見守りセンサー、介護記録の電子化、遠隔診療など。業務効率化や安全性向上が期待されている。

問題Ⅱ

大規模公園では様々な施設や余白が取り入れられるため、多様なアクティビティが生まれやすい。一方、1,000 m²未満の小規模公園は公園全体の約4割を占めるものの、面積が狭いため使い方が限定されがちである。しかしながら、アイデア次第ではわずかな空間でも市民の憩いの場や賑わいの場を提供することができる。通学・通勤・買い物・散策などの途中にくつろいだり、遊んだり、話をしたり、休憩中に食事ができる空間はまちの雰囲気を変えてくれる。小規模公園は、立地する場所（公共施設や商業施設の隣、通り沿い、住宅地内など）によってその特性も、利用者や使い方も変わる。

そこで、自分の住む環境で小規模公園を設計する場合、どのような場所に立地させるのか、また、どのような利用者と使い方が想定できるのか、500字以内で提案しなさい。